

海風日記

さまざまな記憶を包含した貴重な収蔵品が日本郵船歴史博物館にあります。海風が日記をめくるように積み重ねた歴史を紹介します

“ラベル”



ラベルが貼られたトランク

客

船や飛行機に搭乗する際、乗客の荷物には行き先や所有者などの情報が書かれたタグが貼り付けられます。明治と昭和の船旅でも同じようなことが行われていました。乗客は、NYKの各支店で乗船券を購入するときに支給されるラベルを荷物に貼り付けます。船室に持ち込む手荷物には「STATE ROOM」を、航海中には使用せず船内の倉庫に積み込むものには「BAGGAGE ROOM」や「NOT WANTED」を貼り付けます。また一枚のラベルに「WANTED/NOT WANTED」と印刷され、どちらかを切り取って使用するものもありました。これらのラベルには、名前、船名、行き先、部屋番号などを乗客自身が記入し、その情報に沿って給仕人は荷物を指定の場所に運び入れました。

ラベルはその他に「SHANGHAI」や「LOS ANGELES」などの行き先だけのもの、「NYK」の社名や乗客のイニシャルなどが印刷されたものなど、種類は多種多様です。またデザインも、船体や二引の旗の他に、大仏や桜などの日本的なもの、オリンピックや奉祝行事などを記念した世相を表すものなどさまざまです。

1901(明治34)年に発行された『風俗画報』の臨時増刊号である『郵船図会』では、ラベルを旅行の記念として鞆などに貼り付けたまま保存することを勧めています。欧米ではラベルの数が多ほど旅慣れている人とみなされ、ホテルなどで優遇される傾向があることを紹介しています。

博物館では、世界中を旅したことが分かる、船会社やホテルなどのラベルが貼り付けられた革製のトランクも数多く所蔵しています。

問い合わせ

日本郵船歴史博物館

- 所在地：神奈川県横浜市中区海岸通3-9
- 電話：045-211-1923
- 開館時間：午前10時～午後5時
(最終入館：午後4時30分)
- 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
- 臨時休館日：2021年12月27日～
22年1月31日

- 入館料：一般400円、
シニア(65歳以上)・中高生250円、
小学生以下無料
(NYKグループ社員と同伴者1人まで、社員証の提示で入館無料)
- ウェブサイト：<https://museum.nyk.com>